

タスキ
つなぐ

中小企業の未来を考える

経営者セミナー

鹿児島県内の中小企業経営者や個人事業主らが事業承継について学ぶ「中小企業の未来を考える経営者セミナー」が11月6～14日、県内7会場で開かれました。地域に根差した会社の存続は、地域の未来に大きく影響します。参加した経営者らは、事業承継の注意点や支援制度、企業の合併・買収(M&A)などについて、専門家らのアドバイスに耳を傾けました。

「税理士を上手に活用 頼れる相談相手に」

税理士法人 MS パートナーズ 代表社員
牧 真之介氏



近年、鹿児島県内では、後継者不在のために何十年と続いてきた会社が「廃業する事例が散見されます。これらの会社には長年培ってきたブランド力があり、一緒に頑張ってきた従業員や取引先もいます。地域で光り輝き続ける場として事業を後継者について存続してほしい、と願っています。

事業承継には①親族内承継②役員・従業員承継③M&A(社外への引き継ぎ)の三つがあります。事業承継においては経営権となる株式の引き継ぎが課題となります。①の場合、親族への株式の「贈与・相続」という視点から早期の経営権(株式)の移転、税金の抑制等のために株価の抑制が課題となります。②、③の場合、株式の「譲渡」という視点から、譲渡側としては手取り額を増やすための株価の引き上げが課題となります。事業承継の類型によって株価の視点が変わるため、類型に応じた対策が必要です。

事業承継により後継者不在による会社の廃業を回避するのは、事業承継後も周囲の方々の明るく照らす光であり続けてもらうためです。そのためには、

事業を磨き上げる必要があります。ポイントの一つとしては幹部候補生(現場リーダー)の育成が挙げられます。中小企業では人脈や技術が社長に集中しがちです。社長の現場におけるノウハウを叩き込まれた現場リーダーの存在は、事業承継後、後継者が円滑に事業を維持・運営していくための成功確率を高めます。

最後に改めて、事業承継で頼りになるのは顧問税理士です。確定申告や年末調整などで会社に関わり、会社や家族のことを最も理解する顧問税理士を上手に活用することが大切です。事業の磨き上げについても、顧問税理士や、事業承継を支援するために国が設置した事業承継・引継ぎ支援センターは、事業承継全般において知見を持つ頼りになる相談相手です。事業承継には多種多様な検討課題があります。顧問税理士をはじめ、鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センターや地域の金融機関、商工団体など、いろんな方々と相談し、サポートを受けながら、事業承継を成功に導くことを願っております。

「第三者承継(M&A)をもっと身近に、わかりやすく」

株式会社 M&A Biz 代表
辻松 律男氏



大学を卒業して入社した山一証券が1997年に突然廃業。その5年後、中小企業の第三者承継(M&A)を担当する会社に入社しました。当時M&Aといえば企業乗っ取り、事業に失敗して会社を売る、といった悪いイメージが強かったです。ところが、その会社は、社員や社名、取引先はそのまま引き継ぐ、オーナーの個人保証や借金も肩代わりするといった、社会のためになるM&Aをしていました。自分でもこういった会社を経営したくなって、「M&A Biz」を設立しました。

M&Aを選択する一番の理由は「稼ぐ力を向上させる」ためです。相手方と自分の強みと弱みを補充し合い、相乗効果を生み出すことで稼ぐ力が向上し、魅力ある会社になります。

M&Aに失敗しないためのポイントについて。仲介会社が提案資料を作成する際、売り手の実態をどれだけ把握できるかが一番大事です。会計書類を洗いざらいチェックする中で、当然、社長にとって頭の痛いことを聞きます。交渉の途中で隠し事がばれたら、

相手は信用しなくなるし、場合によっては訴訟にもなる。だから会社の実態について最初にきちんと話すことはとても大事です。

そして、業者に依頼する時の注意点について。成功報酬は高いか安いかわけではなく、仕事に対して納得してもらえらる経済的合理性があればいいです。会社の規模に合った成功報酬を見極めて依頼することをお勧めします。

一方、個人保証や連帯保証の解除をしない「悪質な買い手」と「無責任な仲介」が社会問題化しています。M&Aの成約後も個人保証を解除せず、売り手の会社の現金を引き抜いて買い手が使い、倒産した会社も出ています。そこで、複数の会社と面談することをお勧めします。鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センターは中小企業のM&A案件を数多く取り扱っています。地元金融機関に相談するのもいいです。何もしないと会社の「稼ぐ力」は落ちていきます。そうなる前に、M&Aが少しでも役に立てば幸いです。

広告



鹿児島会場の様子

セミナーの様子は
こちらからも
ご覧いただけます



「私たちが教えます」事業承継のエトセトラ

各会場のゲストスピーカーとして、各業界でご活躍される経営者・専門家をお招きし、事業承継にまつわるエピソードや思いをご講演いただきました。



温泉ソムリエ 師範
六三四氏



軸屋酒造(株)代表取締役社長
軸屋 麻衣子氏



伊達醸造
富澤 英里子氏



(一社)IBUNいろ 代表
原田 さおり氏

主 催	鹿児島県
共 催	鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター
後 援	(一社)鹿児島県商工会議所連合会 鹿児島県商工会連合会 (公財)かごしま産業支援センター
協 力	鹿児島銀行
企画・制作	南日本新聞社地域共創室 (TEL.099-813-5022)